

経営指導員が行く！  
相談所からのお知らせ

新型コロナウイルス対策営業持続化等補助金

12月17日より

各種QRコード決済可能に

周南市でキャッシュレス化が進む中、カレーハウスCoCo壱番屋もクレジットカードだけでなく、携帯電話のアプリを活用するQRコード決済の導入がスタートする。同店ではPayPayのQRコード決済をいち早く導入していたが、顧客に店頭でQRコードを読み取ってもらい、顧客自身が金額を打ち込んで決済するタイプだった。12月17日から導入をスタートするのは、PayPayだけでなくauペイ、メルペイ、LINEペイ、d払い、ファミペイ、ゆうちょペイなど様々なQRコードアプリをバーコードで読み取ることができるようになり顧客の非接触決済の選択肢を広げていける。12月1日からは楽天ポイント

溜めたり、使ったりできるサービスもスタートする。準備段階としてPOSレジの準備は早めにしてきたが、コロナで売り上げのダメージを受けたこともあり、補助金の活用ができないものかと新南陽商工会議所に相談。顧客がQRを読み込むタイプではなく、POSレジを使い、決済にバーコードを読み込むシステムを導入する為に、通信をISDNから光ファイバーに変更する費用補助として申請した。



カレーハウスCoCo壱番屋  
イオンタウン周南店  
平藤 誠司 オーナー

店内は席毎に仕切り板を準備し、消毒にも力を入れている。現在はまだ、現金での支払いも多く、トレイでのお金のやり取りをして感染予防に心がけている。平藤さんは「全国のカレーハウスCoCo壱番屋を経営する仲間は行政からの時短営業の依頼もしっかりと守り、ブランドに傷をつけない努力をするなど、大変な時期を歯を食いしばりながら乗り越えてきている」と話し、プライドを持って自身の店もコロナに立ち向かいたいと意気込みを見せ、キャッシュレスの流れを止めることはできないので、将来を見据えて、しっかりと顧客満足のサービスを準備していきたいと話す。



■カレーハウスCoCo壱番屋  
イオンタウン周南店  
〒746-0025 山口県周南市古市1-4-1  
tel.0834-64-5517  
10:45~22:30 (ラストオーダー)